

平成19年度京都大学防災研究所特別教育研究経費（拠点形成）研究集会

平成19年度東京大学地震研究所共同利用，PIXEL 共催

## 衛星搭載型合成開口レーダーを用いた 地震・火山災害ポテンシャル評価手法の高度化・効率化

### 開催案内と講演募集

京都大学防災研究所では、特別教育研究経費（拠点形成）によりまず特別事業として「衛星搭載型合成開口レーダー（SAR）を用いた地震・火山災害ポテンシャル評価手法の高度化・効率化と適用」（研究代表者：橋本学）を、所内2センター及び所外の共同研究者とともに進めております。この一環として、標記研究集会を下記の日程で開催することとなりました。

本研究集会は、ALOS（だいち）他の衛星による観測データを用いた干渉 SAR 技術（InSAR）等の高度化・高精度化，GPS との結合，SAR データを用いた地殻変動のモデル化など国内の研究者による最新の研究成果の発表に基づきこれからの SAR 研究の方向性について議論することを目的としています。また、海外の SAR 研究者2名[Dr. Falk Amelung(U. Miami), Prof. Ramon Hanssen(TU Delft)]を招待し、欧米の研究動向等について発表いただく予定です。

さらに、本研究集会に引き続き Ramon Hanssen 氏による同氏開発のソフトウェア DORIS の講習会も予定しております。

ご関心のある皆様方の、積極的な参加を期待いたします。

日時：2008年（平成20年）1月15日（火）～16日（水）

場所：京大生生存圏研究所木質ホール3階 セミナー室（京都大学宇治キャンパス内）

期待される発表テーマ：

- 1) 衛星搭載型合成開口レーダーによる地殻変動観測手法の高度化・高精度化  
（大気伝播遅延補正，PSInSAR，GPS とのリンク，他）
- 2) 衛星搭載型合成開口レーダーによる地殻変動観測事例および観測結果のモデル化
- 3) グローバル観測戦略（ALOS 後継ミッション，世界の InSAR ミッション他）

つきましては、下記の要領で講演を募集いたします。

#### 【申し込み方法】 メールのみ

送付内容：タイトル，講演者（所属），代表者連絡先，旅費の要・不要（必要な場合は、旅程も）

申し込み先： 京都大学防災研究所 地震予知研究センター 橋本学

Email: [manabu\\_h@mbox.kudpc.kyoto-u.ac.jp](mailto:manabu_h@mbox.kudpc.kyoto-u.ac.jp)

締め切り： 2008年11月30日（金）17：30

#### 【アブストラクト】

- ・タイトル，発表者氏名・所属，要旨をA4用紙1枚以内に記載（PDFまたはDOC形式）
- ・英語または日本語
- ・締め切り： 2008年1月9日（水）17：30

#### 【講演方法】

- ・英語または日本語
- ・PCプロジェクタ1台使用可（OHPご希望の方は、事前にご相談願います）
- ・PPT ファイルは英語で作成することが望ましい

ご提出いただいたアブストラクト及び講演に使用されたPPTファイルは、報告書としてCDにまとめて配布する予定です。あらかじめ、ご了承ください。

問い合わせ先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所 地震予知研究センター

橋本学 [manabu\\_h@mbox.kudpc.kyoto-u.ac.jp](mailto:manabu_h@mbox.kudpc.kyoto-u.ac.jp)

福島洋 [yofuku@rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp](mailto:yofuku@rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp)